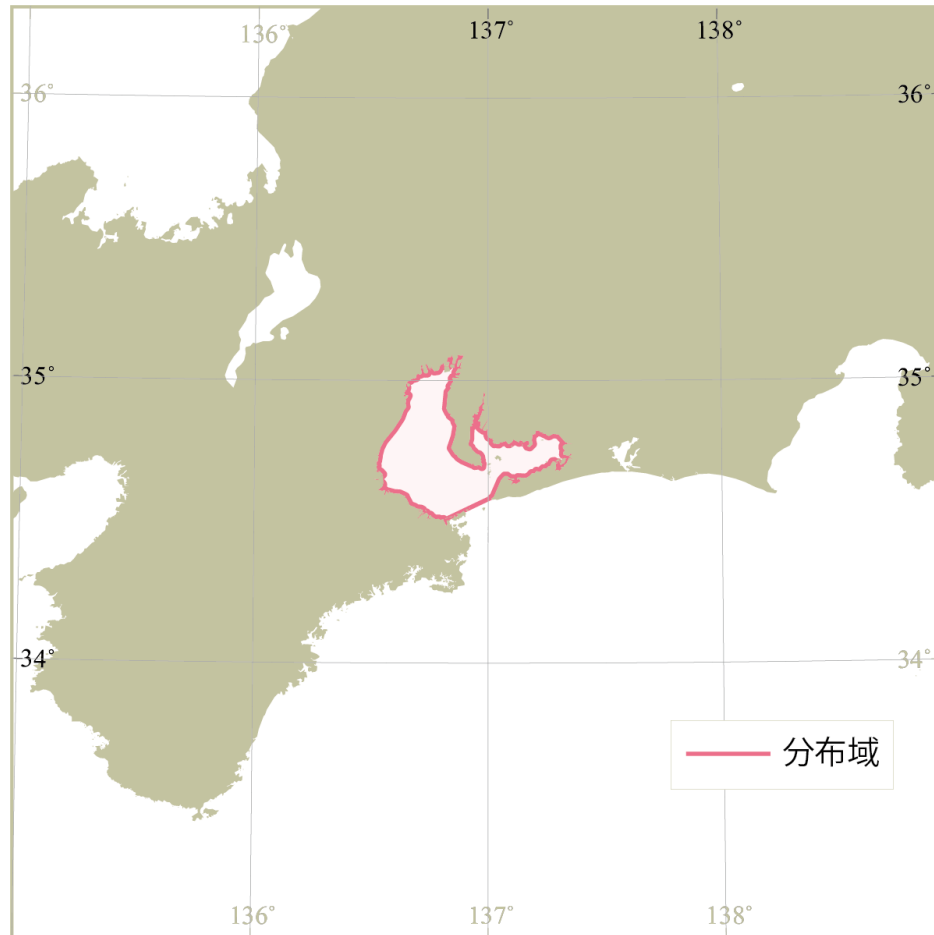




マアナゴ伊勢・三河湾 令和4年度資源評価結果

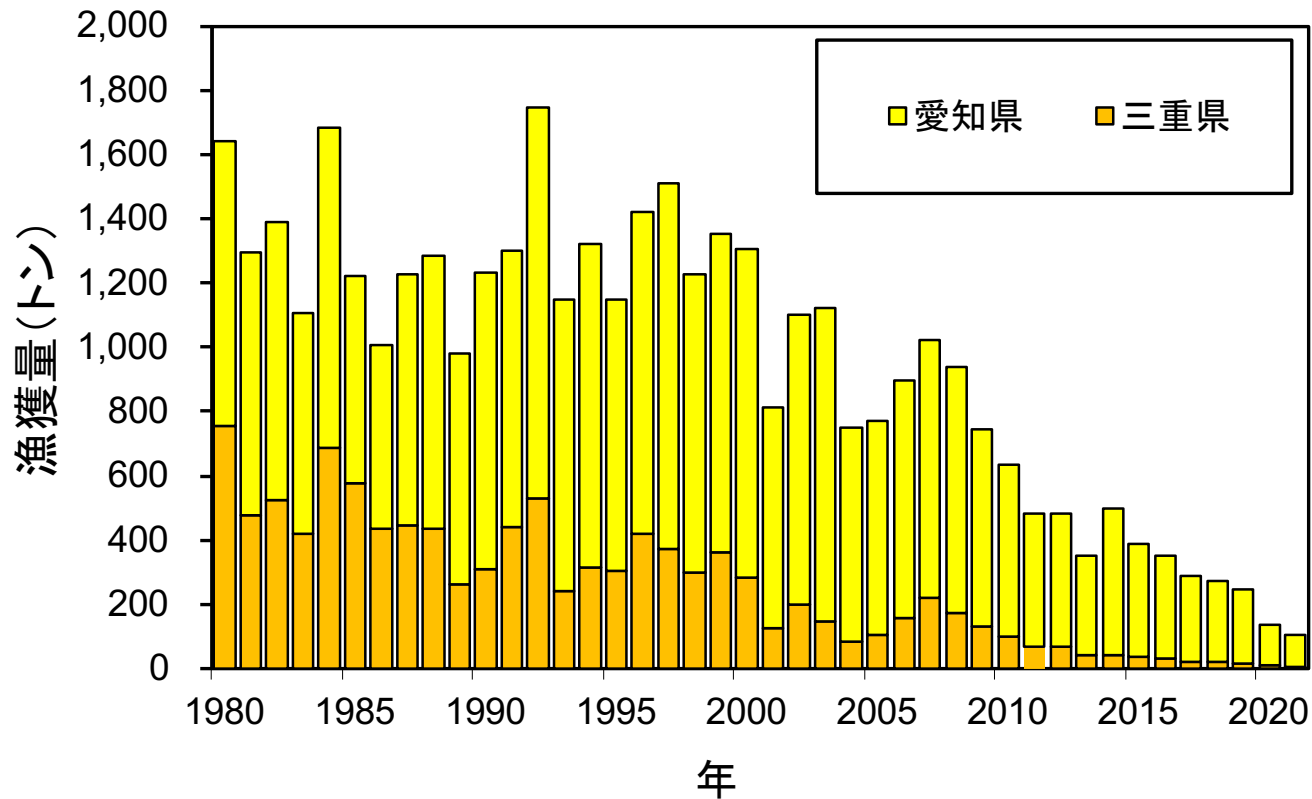
生物学の特性



生物学の特性

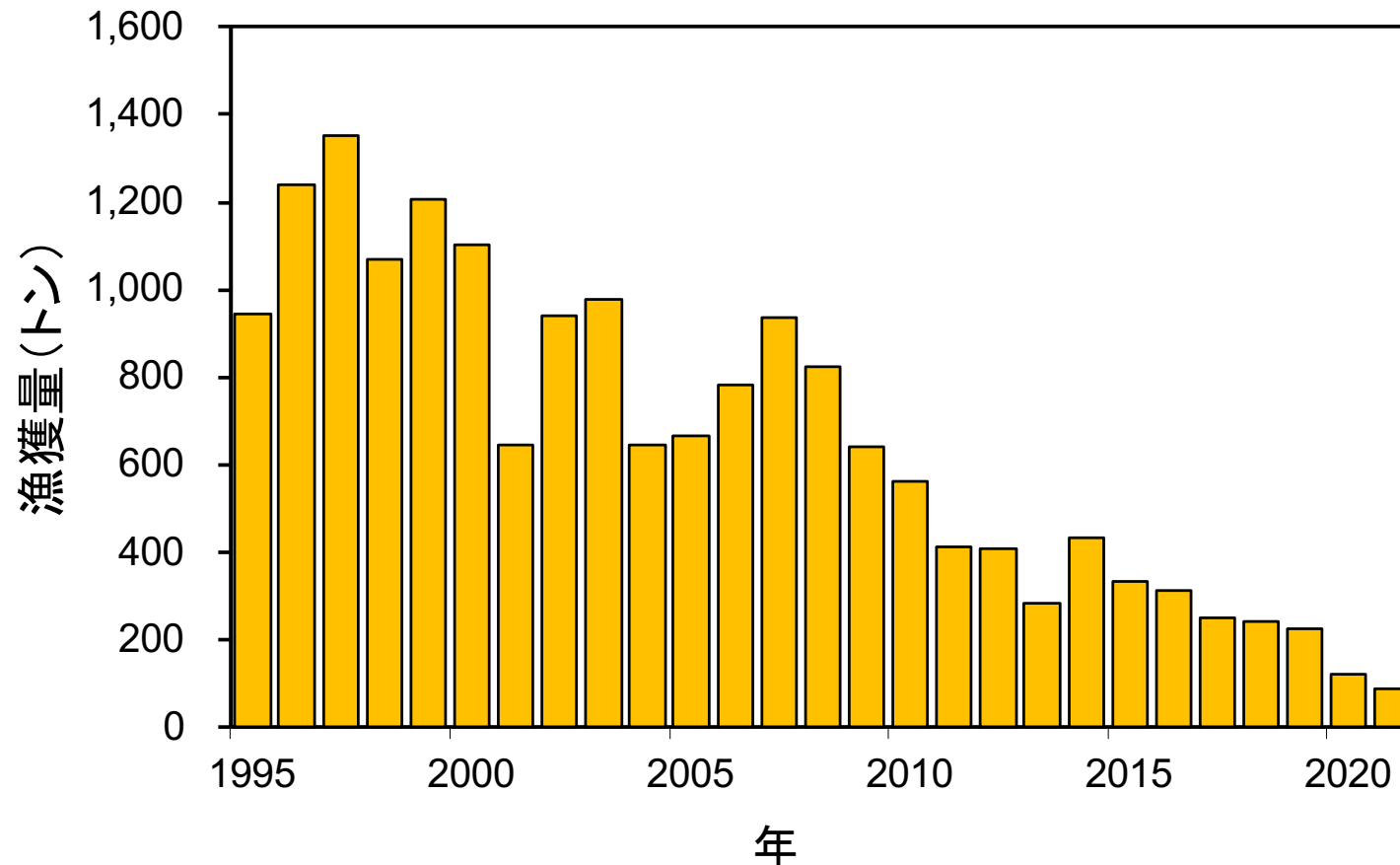
- 寿命：4歳以上
- 成熟開始年齢：不明
- 産卵期・産卵場：
詳細は不明、産卵場は沖ノ鳥島南方の九州パラオ海嶺付近に唯一確認されている
- 食性：
稚魚は小型の底生生物、成長につれエビ類、魚類、軟体類
- 捕食者：不明

漁獲の動向①



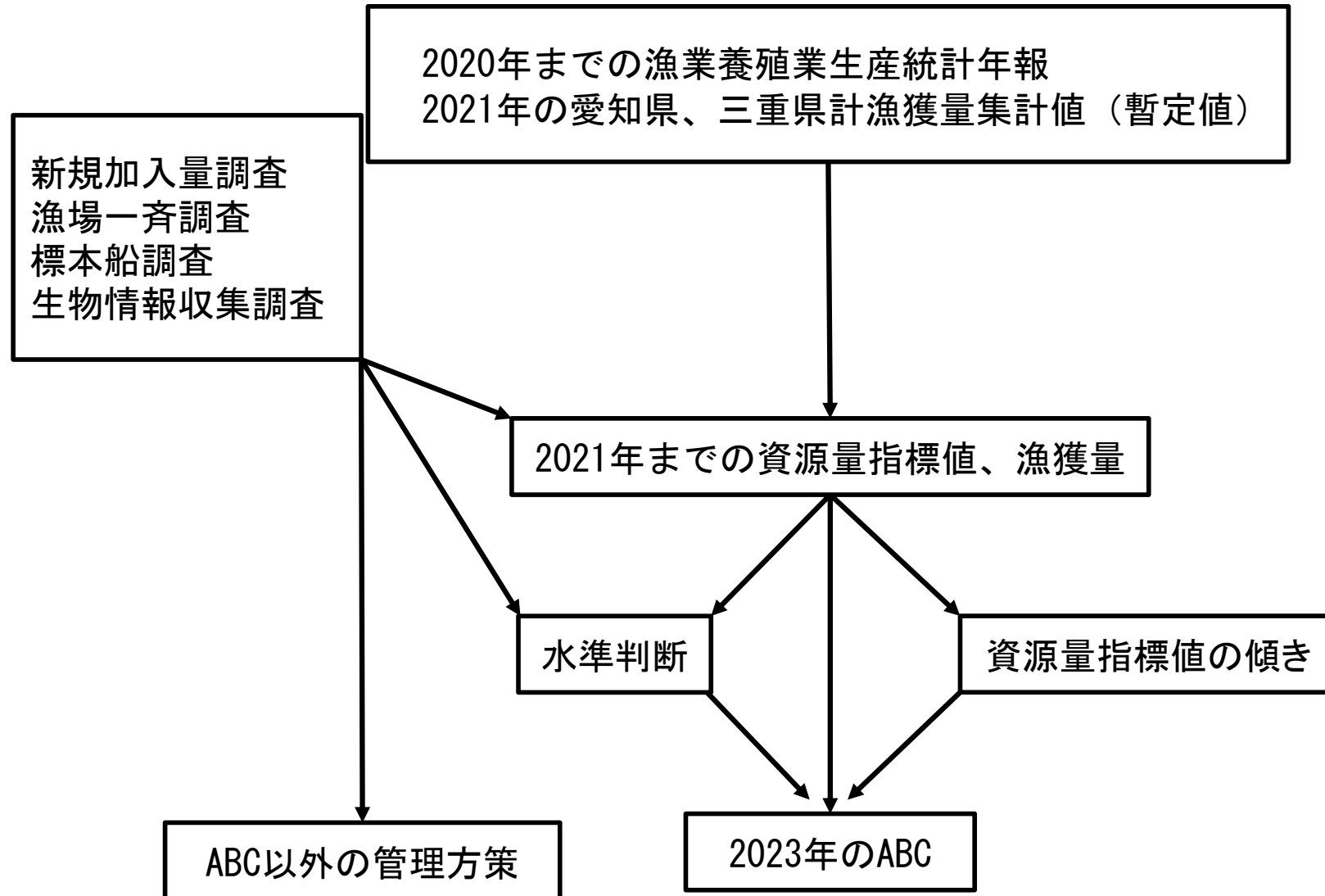
- 伊勢・三河湾では、主に、小型機船底びき網漁業（小底）、かご漁業により漁獲される
- 2021年の「あなご類」漁獲量
愛知県：99トン 三重県：4トン 計：103トン

漁獲の動向②

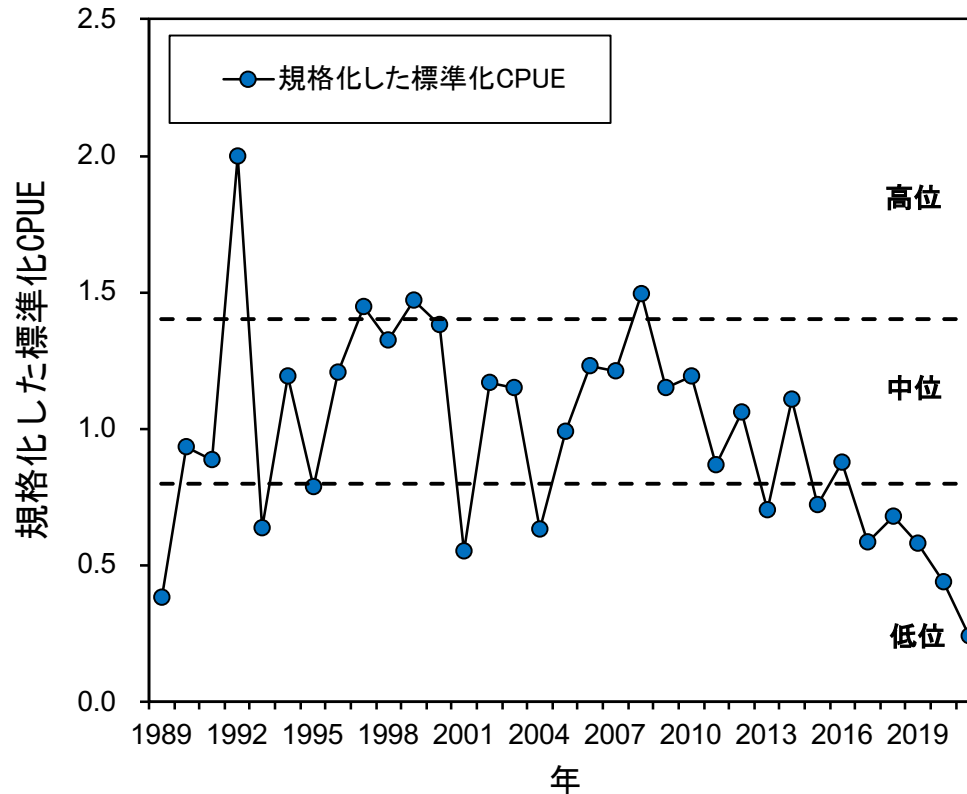


- 2021年のマアナゴ漁獲量（伊勢・三河湾内）
愛知県：84トン　三重県：4トン　計：88トン

資源評価の流れ



資源の動向



※水準区分：最大値と最小値の間を3等分し、上から高位、中位、低位とした

※CPUE：単位努力量あたり漁獲量

- 愛知県・三重県主要港の小底の標準化CPUEから判断
- 資源水準：2021年の標準化CPUEは0.24であり「低位」
- 資源動向：直近5年間（2017～2021年）の標準化CPUEの推移から「減少」

資源評価のまとめ

- 伊勢・三河湾内のマアナゴ漁獲量は、2021年は88トン
- マアナゴ伊勢・三河湾の資源水準は「低位」、動向は「減少」

2023年ABC

管理基準	Target/Limit	2023年ABC (トン)	漁獲割合 (%)	F値（現状のF値 からの増減%）
0.7・Cave 3-yr・ 0.59	Target	48	—	—
	Limit	60	—	—

- ABC算定規則の2-1)により、 $ABC_{limit} = \delta_1 \cdot Ct \cdot \gamma_1$ で計算
- δ_1 : 0.7 (Caveを用いる場合の低位水準の推奨値)
- Ct : Cave3-yr (2019~2021年の平均漁獲量)
- γ_1 : 0.59 (資源量指標値の推移から算出)